

## 《小橋拓弥》



ギタリスト,作曲家

2012年洗足学園音楽大学ジャズコースに入学, 田窪一盛, 道下 和彦, 各氏に師事 JFC All star big band に参加, 東京ジャズフェスティバルに出演する。2016年夏にバークリー音楽大学に留学。在学中は様々なコンサートやレコーディングに参加する。自己の楽曲がアメリカの Unsigned Only Music Competiton にてセミファイナルリストに選ばれる。2021年ファーストアルバム「Imaginary Story」を Apollo Sounds にてリリース。

## 《福原雄太》



東京出身のドラマー、作曲家。これまで、トラディショナルなジャズからエレクトロポップまで、様々なプロジェクトで演奏してきた。2017年、自身の音楽性を追求するためボストンへ移る。バークリー音楽大学ではジャズコンポジション科を専攻しながら、ライブパフォーマンスやレコーディング活動を行ってきた。学内で Terence Blanchard XTET に選ばれ、ジャズビブラフォニストの Warren Wolf と共演。またフラメンコ界の著名アーティスト Sonia Olla & Ismael Fernández、台湾出身のポップスター Nana Ouyang と共演するなど、ジャズに限らず幅広く活動している。現在は日本に帰国して、都内を中心に活動中。

## 《上浪瑳耶香》



ジャズピアニスト、作曲家。

東京を拠点に、自身のバンドやサポートピアニストとして活動中。

オリジナル曲は、声を楽器のように使い、ピアノとメロディーをユニゾンさせるスタイルのコンテンポラリー・ジャズ。

Artist Green と『和 Meets JAZZ』の主催団体 Starbridge Factory と協力して行われた、『五穀豊穰』をテーマにしたジャズコンペティションで、自身のオリジナル曲で優勝。

シンガポールで行われた、Aaron Goldberg,Camila Meza,Ben Williams,Greg Hutchinson らが講師を務める、Jazz at the Red Dot 2018・2019 に参加。ファイナルコンサートでは自身のオリジナル曲を演奏し、講師を務めた、Aaron Goldberg や Leon Parker から好評価を得る。

## 《中山真司》



大阪府生まれ。2007年に早稲田大学入学と共にモダンジャズ研究会に入りコントラバスの演奏とジャズの勉強を始める。アメリカのコロラド州に一年滞在する等の貴重な体験をするが中退、その後プロとして活動を始め今に至る。

現在は様々なバンドでのサポートに加え、自身の作編曲を演奏する「猿楽町バンド」、「o7 (Kan-Nana)」などのユニットでの活動を行なっている。

## 《陸悠》



兵庫県神戸市出身の作編曲家、テナーサクソ奏者。

日本では、サクソを古谷光広氏に、ピアノを宮下博行氏に師事。

2016年、ボストンのバークリー音楽院に奨学金を得て入学し、Jazz Composition を専攻。

2018年8月にバークリー音楽院を首席卒業し、日本を拠点に活動を開始。

黒田卓也氏、大林武司氏、Yuki Monolog Kanesaka 氏、MISIA 氏らと共演。2020年には、MISIA Soul Jazz Big Band Orchestra Sweet & Tender のアリーナツアーにビッグバンドのメンバーとして参加。大阪城ホール、横浜アリーナにて演奏。MISIA Summer Soul Jazz で東京国際フォーラム A にて演奏。

2021年、全国ツアー "MISIA 星空のライブ Across The Universe" に参加。

Takuya Kuroda aTak Band, 大西順子 presents THE ORCHESTRA など、多方面で活躍している。自身が作編曲する12人編成のアンサンブル、Yu Kuga Jazz Orchestra や、窪田想士氏とともに The Scottfields を結成するなど、活動の分野は多岐にわたる。

## 《Marini Nainggolan マリーニ・ナインゴラン》



シンガーソングライター、ボイスティーチャー、バックボーカリスト。インドネシアのペリタハラパン大学・音楽学部出身。

ビーチボーイズからジョニ・ミッチェル、エスペランサ・スポルディング、ヴェロニカ・スウィフトなど様々な音楽に触れながら育ったことでジャンルに囚われることなく自身の音楽を表現することや、歌詞を通して自分の考えや価値観を伝えていく事を目指している。これを原動力とし2018年にファーストシングル「Siklus Gila」、そしてそのわずか1か月後に「Ambivalén」と題したファーストアルバムもリリース。

ソロ活動以外にもバックボーカリストとしても活動。インドネシアの有名な女性シンガーであるライサや、親友のデュア・エンパットとインドネシアやシンガポールなどアジア諸国で開催される数々の音楽祭で共演する事も多い。

また2016年から現在に至るまでボイスティーチャーとしても活動しており、健康的な歌唱と歌手の楽器である自身の身体を探求する方法に重きを置いている。音楽と歌には常に成長する余地があるとし、学び続けることでより多くの美しい音楽に出会えると信じている。